



WHAT'S NEW



発行 新渡戸文化学園
新渡戸文化短期大学

※ホームページに掲載しています。

2年連続！臨床検査技師の新卒合格100%を達成しました！

第59回臨床検査技師国家試験の合格発表が3月末にあり、本学は昨年引き続き2年連続の新卒合格100%を達成しました。

本学独自の弱点克服対策が確かな手応えに繋がりました。



社会人目の前の3年生を対象に特別講義を実施しました。

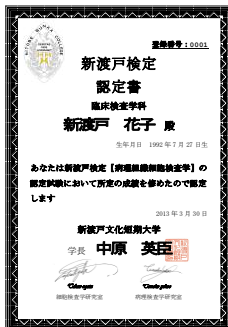
平成24年11月、社会人を目前に控えた3年生が、医学界におけるトップの先生方から講義を受け、医療の最先端に触れました。これにより医療人



有資格者としての自覚を深めました。

ご担当くださった講師は、長村義之先生(国際医療福祉大大学院教授)、日暮眞先生(東大名誉教授)、北村聖先生(東大医学教育国際協力研究センター教授)、原諭吉先生(東京医科歯科大名誉教授)、山田俊彦先生(元山梨医大助教授)、小栗豊子先生(東京医療保健大大学院教授)、鈴木達夫先生(元北里衛生専門学院学院長)、小松京子先生(国際臨床検査技師連盟[IFBLS]会長)、片山博徳先生(日本医大多摩永山病院病理部技師長)の9名です。

臨床検査学科初の新渡戸検定を行いました。



去る3月9日(土)臨床検査学科で初の新渡戸検定を行いました。臨床検査領域での技術の向上を目的とした内容で、今回は病理組織細胞検査学分野の検定試験を実施しました。顕微鏡観察で組織名と染色名を答える問題、細胞像をスクリーンに投影し推定病変を答える問題が出題され、病理検査学領域では重要な項目です。臨地実習を目前に控えた2年生12名が検定に挑み、難易度の高い内容にもかかわらず7名が合格し、3月30日に認定書授与式を挙行了しました。



臨床検査学科の中野哲助手が専任講師に昇格しました。

中野専任講師は工学院大学工学部を卒業した後、東京電子専門学校で臨床検査学科を卒業。平成21年に助手として本学に入職する前は、平沢記念病院で主に脳波検査を担当していました。『臨床現場での経験は少なく、まだまだ実績不足ではありますが全力で今の時代のニーズにあった医療人の育成、教育に邁進したいと思っています』とコメントしています。

本年、本学科卒業の鎌田麻佑さんが副手に就任しました。

今年の4月から、本学を卒業したばかりの初々しい卒業生が副手として就任しました。『一日でも早く一人前になれるよう頑張りたいと思います。そして、教員としての仕事を頑張ると共に臨床検査技師として自分自身の学力を向上させ、学生のために貢献していきたいです。』とコメントしています。